

樽前会関東支部 平成24年度第5回(平成25年1月) 理事会 議事録

開催日時	H25(2013)年1月11日(金) 19:00~20:15	開催場所	(株)アクセスネット セミナールーム
出席者	・下村支部長、窪田・齊藤副支部長、高石(和)事務局長、吉田会計、勝岡・宇高・竹内・松原・新妻・高石(良)・川端理事 ・横田・福井理事、榎本監査 市川(アクセスネット) 【出席役員計15名、合計16名】		
欠席者	・高田副支部長、中嶋・平川・置田・小堀・溝口・熊谷・芳賀理事、鈴木監査【欠席役員計9名】		
配布資料 (メール送信済)	①理事会次第 ②年度活動計画進捗 ③内藤氏からの本部意見交換メール ④本部内海理事からのメールリスト登録案内 ⑤総会準備日程計画&フォロー表 ⑥2013年樽前会支部懇談会開催案内 ⑦名簿管理 ⑧連絡網・窓口担当者		
< 議 事 (決定事項等) >			
※文中、敬称略。			
1. 開会挨拶(下村支部長)			
・新年おめでとうございます。昨年の活動協力に感謝します、本年もどうぞ宜しくお願いします。			
・今年も母校支援、本部とのつながり強化等を図っていきます、又、懸案の会員倍増計画は道半ばですが、基本の名簿管理 積極的に進めていきます。			
・本部との情報交換は内藤先輩のお骨折れも頂くとともに、高石事務局長にも精力的に意見交換をして貰っています。			
・支部を盛り上げていくためには、我々自身がワクワク・感動することが必要ですので、各位の積極的な活動をお願いします。			
2. 会員名簿運用管理について(窪田運営委員長及び勝岡理事より資料に基づく説明あり)			
・12/6高石・勝岡・窪田3名での打合せ結果、資料通りの管理手順(フローチャート)案を決定。			
・名簿管理責任者(勝岡理事)を中心に、各科管理者(榎本・宇高・高田・新妻・小堀)と連携して進める。			
・USBメモリにて勝岡管理責任者が一元管理(改廃等実施)し、各科管理者へ更新したUSBメモリを配布する。			
・新規会員登録申請はHP(事務局管理)及び各科管理者からの提案を受け、理事会にて入会審査・承認を行う。			
・新卒者名簿を関東支部として本部より受領する。			
・内藤隆・板垣輝男(以上機械1期)及び長谷川稔(土木3期)・平川栄治(工化15期)各氏の支部転出に伴う退会を承認。			
3. 樽前会認知度アップについて(下村支部長、高石事務局長より)			
・役員間の関連するメールのやりとりを集約して説明あり。			
・卒業時に幹事を決めての定期開催、「ジンギスカン」パーティで人集め等が有効である旨説明があった。			
・在校生からの同窓会への希望はアンケートによると、①就職に役立つ情報提供や会社訪問への支援 ②就職後に役立つ 人脈紹介 ③卒業後の同級生や母校・恩師の情報提供 ④就職活動に役立つセミナー開催 が多く寄せられた。			
・リーフレットの配布も検討していく。(高石事務局長より素案の説明あり)			
・1/17に予定されている、本部⇄4・5年の学生間のやりとりの結果も受けて纏めていく。(最終的にA4の2つ折りで計8頁に)			
・学生からの要望はメールマガジンからも寄せて貰う。購入代金は、8,000円かかるが、予算措置を検討する。			
4. 総会準備について(窪田運営委員長より資料説明あり)			
・役割分担に基づく責任者について、【設営】齊藤(福井)→福井(齊藤)に変更、会場との連絡窓口は宇高とする。			
・今後の準備日程を以下の通り決定。()内は担当者。			
①1/14(月)までに<開催概要>(案)を作成(松原理事) ②1/16(水)までに<開催概要>を決定(支部長)			
③1/19(土)開催の本部との懇談会に、<開催概要>に基づく招待状を本部及び工化・土木の教授あて持参する。			
④1/末までに、<開催概要>をHP掲載するとともに各科代表(名簿管理者)あて送付する。(③④とも高石事務局長)			
⑤2月初め1週間以内に、アドレス登録者に<開催概要>を転送(Bccにて)し、出席を依頼する。(各科代表者)			
⑥3/8(金)の理事会にて、集計結果を報告する。(各科代表者及び事務局)			
……………この間にハガキ発信用名簿作成・内容決定・印刷等実施……………			
⑦3/20(水・祝)に往復ハガキ発信→4/20(土)締切にて。(事務局)			
⑧5/18(土)の総会&懇親会実施まで、未回答者を中心に出席勧誘する。(名簿整理も兼ねて実施) (全役員)			
※上記1/19の高石事務局長が懇談会出席時に、卒業生全員の名簿作成を働きかけ(50周年に合わせ前倒しにて実施を) 及び、関東支部会員増へ本部役員からのキーパーソンの紹介を依頼する。			
※総会準備のための「実行委員会」の開催については、高石事務局長・窪田運営委員長間で決定・連絡する。			

5. 『全国高専同窓連絡会』(11/24開催)参加報告(下村支部長・高石事務局長)

- ・メール報告の通り、単なる連絡会であったが、今後“連合会”として卒業生の活用+在校生支援をしていくとの前向きな印象を持った。
- ・会場にて都立高専同窓会長よりモンゴル支援に関する相談があり、その後母校関連の具体的な話も出て来た。
- ・3月には、現地調査が予定され、その後の報告会への出席も要請しているが、支部としての対応は今後の検討にて。

6. 本部関連について(高石事務局長より報告)

- ・50周年事業関連での活動が活発になって来ており、事務局として内海事務局長との関係を密にしていきたい。
- ・本部のメーリングリストへは、支部長と事務局長が参加して必要に応じて各役員に情報提供するが、直接を希望する方は事務局長あて申請する。

7. 会計報告(吉田会計理事より)

- ・予算進捗は、収入934,000円-支出658,000円=残額276,000円で、当初計画通り推移している。

8. 会員連絡網について(窪田運営委員長より資料に基づく説明あり)

- ・新規会員獲得へ電話作戦の実施案(機械で実施中の案)を水平展開する。
- ・同期からの勧誘が最も有効であるので、学科代表者を中心に、各期のキーパーソンの選定を進める。
- ・キーパーソンが決定したら運営委員長へ随時報告する。

以 上 (書記/宇高)